



聴力検査のお願い



耳はお子さんのことばや知能の発達にとって、とても大切なはたらきをしています。生まれつき聞こえが悪かったり、耳の病気で難聴になったりすると、たとえその程度は軽くても、子どもにとっては後々大きな影響を与えることにもなりかねません。とくに近頃では痛みがないのに聞こえが悪くなる中耳炎が多くなっています。今回の3歳児健診は、耳の聞こえの異常を発見するちょうどよい機会ですから、ぜひ耳の検査を受けてください。

聴力検査の方法

用意するもの

- 1 絵シート
- 2 アンケート用紙

検査の方法

- 1 この検査は、小さな音が聞こえているか調べるものです。部屋を静かにして検査をしてください。
- 2 子どもと1m位離れて向かい合って机の両側に座り、絵シートを子どもの方に向けて、机の上に置きます。
- 3 聴力検査の練習をします。「この絵の名前を言うから、お母（父）さんが言った絵を指でさしてね。」と子どもに言って、普通の声（会話する時の声）で、絵シートに描かれた絵の名前を言い、子どもが6個の絵をすべて正しく指さしできるように練習します。
- 4 聴力検査の本番です。「今度は小さな声で絵の名前を言うから、よく聞いて、指をさしてね。」と子どもに言って、自分の口元を手で隠し、6個の絵の名前を、ささやき声で1回ずつ言い、子どもが正しく指をさせれば○、正しくなければ×をアンケート用紙に記入します。アンケート用紙は、3歳児健診の時にご持参ください。



※検査の注意事項

絵の名前をいうのは1回だけです。聞き返されても、繰り返し言わないでください。また、ささやき声が大きくならないように注意してください。

※“ささやき声”の出し方

ささやき声は、息を出すだけの感じで、ないしょ話のようにささやきます。普通の声は、のど（のどぼとけ）に手を当てたとき、指に振動が感じられますが、ないしょ話のようにささやくと振動は感じません。この状態が“ささやき声”です。

絵シート

